



日本酒「猩々（しょうじょう）」の復刻版は椿まつりでお披露目となります。

※「猩々」：国指定重要文化財「喜多家住宅」で昭和50年ころまで造られていた日本酒です。喜多家に残っていた酵母菌を使い、現在、中村酒造が醸造に取り組んでいます。

ごあいさつ

令和4年2月4日

2月に入りました。

昨年秋以降、落ち着きをみせていた新型コロナウイルス感染症ですが、1月に入りオミクロン株の流行により、新規感染者数も急増し、今や「第6波」の渦中にあります。石川県においても、1月27日から2月20日まで、県下全域を対象として「まん延防止等重点措置」がとられています。

本市では、できる限り市民の皆さんの生活に影響が出ないよう対策を講じていきたいと思っておりますが、小中学校や保育園において感染が確認された場合には、状況に応じて休校休園の措置をとらせていただいております。日常生活に大変ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力のほど、よろしく願いいたします。

2月3日、市議会臨時会を開催し、補正予算の議決をいただきました。今回の補正予算では、各種臨時給付金事業や小中学校・保育園におけるタブレット端末の整備など、国による新型コロナウイルス対策の交付金を活用した事業を中心に計上いたしました。今後、支援が必要な皆さんにすみやかに給付を行い、円滑に事業を進めてまいります。

また、まん延防止等重点措置に伴い営業時間を短縮する市内飲食店向けに、「第5波」同様、市独自の支援金も準備しています。準備が整い次第、ご案内したいと思います。

中林土地区画整理事業において整備中の市営墓地公園は、2月5日に起工式となります。「メモリアルパークののいち」の名称のもと、約2万㎡の敷地に合葬墓や一般墓の区画のほか、多目的広場を設け、四季を感じる緑豊かな憩いの場として、また、市民の皆さんの心の拠りどころとなれるよう、秋の開園に向けて鋭意取り組んでまいります。

雪が降るたび、除雪の心配もしておりますが、暦のうえでは「立春」を迎えました。豆まきや恵方巻など、各地にはそれぞれの風習が根付いていますが、季節の変わり目に健康を願い、邪気を払うことはどこでも共通しています。鬼退治ならぬコロナ退治といきたいところですが、「春到来」にはもう少し時間がかかりそうです。

これまで通りの基本的な感染防止対策を引き続きお願いいたします。